

郡山商業高校における図書館活動

平成 21 年 12 月 22 日
郡山商業高等学校図書部

本校図書部は、図書館業務と視聴覚業務とが一体となって活動している。平成 21 年度においては、以下のような努力目標のもとで実践活動を行ってきた。本校図書館では特別な活動は行ってはいないが、日々の貸し出しの中で「だれでも利用できる魅力的な図書館をめざして」という目標のもと、一人でも多くの生徒や教職員に読書に親しんでもらえる雰囲気づくりに努めている。

【平成 21 年度 努力目標】

努力目標	具体的な実践内容
1 読書指導の充実	新入生図書館オリエンテーションの実施
2 図書館利用の活性化	図書館だより『ライブラリープレス』の発行 掲示板の活用(新刊案内・テーマ別図書案内など)
3 図書館運営の OA 化推進	希望図書の購入、本の展示・紹介、店頭購入(図書委員) 図書館報『せせらぎ』の発行 授業・学校行事との連携
4 視聴覚教育の充実	視聴覚室の積極的な利用 視聴覚室のガイダンス実施
5 視聴覚教材の充実と利用の活性化	芸術教室の実施 VTR、DVD ソフトの整備 図書館へのコピー機(生徒用)設置



【入りやすい雰囲気の図書館入口】

【具体的実践活動】

1 新入生図書館オリエンテーションの実施

毎年4月末に、新入生を対象に新入生図書館オリエンテーションを行い、読書の意義や図書館利用の仕方などについて説明して、意識の高揚を図っている。オリエンテーションの内容については、読書の楽しさについて（図書主任） 図書館利用の具体的説明（司書） 図書館の自由閲覧からなり、国語の時間を利用して1時間で行っている。

2 広報活動の実施

広く生徒や教職員に新刊本の紹介や読書についての情報を提供するために、以下のような広報活動を行っている。

図書館だより『ライブラリープレス』の発行

毎月1回、全生徒・全教職員を対象に発行し、新刊本の紹介や読書に関する情報を提供している。



【図書館だより『ライブラリープレス』】

掲示板の活用

生徒昇降口と図書館前の掲示板を利用して、新刊本の紹介を行い、読書に関する意識の高揚を図っている。



【図書館前の新刊本紹介】



【昇降口前の新刊本紹介】

図書館報『せせらぎ』の発行

1年に1回、2月末に発行している。内容は、教職員が生徒に薦める図書や生徒の読書感想文、短歌、俳句、読書調査の結果報告、活動報告などを掲載しているが、結構生徒は興味深く読んでいる。



【図書館報『せせらぎ』】

3 図書委員の意識高揚を図る活動

図書館活動を支えるのは各クラスから選出された図書委員である。その図書委員の意識を高めることは図書館活動をスムーズに行い、活性化を図ることにつながる。そのため本校では以下のような研修や活動を行っている。

郡山市内高等学校図書館連絡協議会（図連協）への参加

年3回（5月、10月、1月）市内図連協へ参加し、市内各学校の図書委員と交流をもち、図書に関する情報交換や様々な研修を行い、意識の高揚を図っている。今年度は座談会（5月）研修会「手作りPOP講習会」（10月）読書会（1月予定）などに参加し交流を深め、研鑽しあった。1月末には、活動の総まとめとして会報『SELF』を発行する予定である。



【会報『SELF』】

店頭購入

年2回（5月、12月）に、図書委員が市内の書店に行って、自分の読みたい、あるいは推薦したい図書を店頭で直接購入してくる。図書委員の選定した図書の中には、やや軽いものも含まれているが、委員自らが選ぶことによって自覚と責任をもたせている。

役割分担

図書委員一人一人に役割分担を決め、活動の円滑さと責任をもたせている。役割は、以下のようなものである。

- ・図書室掃除・・・各クラスの図書委員が交代で図書室の掃除を行う。
- ・カウンター当番・・・カウンターで図書の貸し出しを行う。
- ・ライブラリープレスの原稿作成・・・資料の収集や原稿の執筆
- ・図書館報の編集・・・図書館報の編集企画、原稿の収集・編集など

4 特設コーナーの設置

図書館内に特設コーナーを設け、気軽に借りやすい雰囲気づくりに努めている。以下のような具体的なコーナーをつくっている。

小論文コーナー 修学旅行コーナー 新刊本コーナー 雑誌新聞コーナー
授業で使用する本の紹介 出会いの1冊コーナー 癒しコーナー 絵本コーナー
店頭購入コーナー 郷土史コーナー 教職員の著書コーナー



【絵本コーナー】



【雑誌新聞コーナー】



【新刊本コーナー】



【図書主任の著書】



【小論文コーナー】



【修学旅行コーナー】



【出会いの1冊コーナー】



【郷土史コーナー】

5 県立図書館、市立図書館の利用

本校の図書館にない図書については、県立図書館や市立図書館の蔵書を借りて、貸し出ししている。今年度は、県立図書館より 400 冊を借りて、県立図書館コーナーを設けて貸し出しを行い、高い利用率であった。また、市立図書館の利用は、授業などで使用する専門書などが主で、必要に応じて事前に連絡し借り受け、かなりの頻度で利用した。

6 リクエストノートの活用

図書館のカウンターの所に、自由に記載できる「リクエストノート」を置き、購入図書の希望に応じている。結構、利用は多く、新刊本の購入などに役立ち、利用者に早く提供している。また、予約簿として利用でき、スムーズな貸し出しが行われている。



【リクエストノート】

7 資料の保存

新聞（朝日、毎日、民友、民報、日経流通）や雑誌（文藝春秋、アエラなど）を 1 年間保存し、大学受験や就職試験の小論文・作文などの資料として利用されている。

8 カウンター貸し出し

本校ではまだ図書館の電算化が行われておらず、図書委員や司書がカウンターで個人貸出カードに記入させながら貸し出しを行っている。そのような中で、能率は悪いが利用者とのコミュニケーションを図りながら図書への関心や読書への意欲を高めている。とくに司書は専門性に富み、カウンター業務を通して図書に関する適切なアドバイスを行い、図書館利用の活性化に努めている。本校図書館は、これからも利用者とのコミュニケーションを図り、心の通い合う図書館づくりをめざし努力していきたい。